

## 採択拠点の拠点形成概要・採択理由

【分野名：革新的な学術分野】

機 関 名	岩手大学
拠点のプログラム名称	熱 - 生命システム関連学拠点創成 (生物の寒冷応答機構をモデルとして)
中核となる専攻等名	連合農学研究科生物資源科学専攻
事業推進担当者	(リーダー) 上村松生 教授 外8名
<p>(拠点形成概要)</p> <p>本研究教育拠点は、熱(温度)環境に対する生命システム応答の可塑性や多様性について、寒冷環境下での生物の生存戦略に焦点を絞ってライフサイクル、進化的時間軸という観点から解析する。さらに、抽出された生物型熱応答システムに基づく新しい工学デバイスの開発や生物の熱応答シミュレーションモデルを構築し、ポストゲノム時代に向けた革新的な学問領域「熱 - 生命システム関連学」の創成を目指す。この目的を達成するため、生命科学研究(連合農学研究科)と工学的熱デバイス研究(工学研究科)を融合させた独立専攻設置を推進し、本学が位置する寒冷環境を最大限に活用した教育研究を強力に行う。さらに、従来の特長分野にとらわれない、生物学・物理学・情報学・環境学などの境界領域を統合した視野の広い、かつ、独創的研究を立案・遂行できる優秀な若手研究者を輩出する。「熱 - 生命システム関連学」の世界的研究拠点の形成を通じ、寒冷地域に根ざした岩手大学が「世界から優秀な人材が集結し、最先端の情報を発信する大学」へと飛躍する。</p>	
<p>(採択理由)</p> <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>国際的に高い評価を得ている成果を基盤として、植物の耐寒性、低温適応を中心に地域性のある課題を取り上げ、先端的な学術分野の開拓を進めていこうとする拠点形成計画である。学術的な成果が期待され、若手研究者の養成にも配慮されている。</p>	
<p>&lt;革新的な学術分野であるポイント&gt;</p> <p>気温など熱エネルギーと生命活動との関係について、寒冷環境下の生物に焦点を当て、工学的・生物情報学的視点から解明を目指す点で、食糧科学など革新的な学術分野の開拓が期待できる拠点形成計画である。</p>	